平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月7日

上場会社名　カネソウ株式会社　　上場取引所　名
コード番号　5979　URL　http://www.kaneso.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 近藤　健治
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 南川　智之　TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,574	14.1	44	―	33	―	25	―
24年3月期第1四半期	1,380	△1.8	△51	―	△59	―	△39	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	1.81	―
24年3月期第1四半期	△2.74	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	15,294	13,453	88.0
24年3月期	15,605	13,536	86.7

(参考) 自己資本　25年3月期第1四半期　13,453百万円　24年3月期　13,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
25年3月期	―				
25年3月期(予想)		7.50	―	7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	11.4	99	―	79	―	48	―	3.37
通期	7,500	7.1	515	76.5	470	83.9	290	178.1	20.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	14,400,000 株	24年3月期	14,400,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	159,941 株	24年3月期	159,941 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	14,240,059 株	24年3月期1Q	14,240,555 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 6
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間における国内経済は、震災からの復旧、復興や補正予算などによる国内需要の回復により緩やかに改善してきました。一方で欧州の金融、債務問題に加え、新興国における景気調整、円高の定着など依然として先行きは不透明な状況で推移しております。当社の関連する建設関連におきましては、前年同期における落ち込みから公共投資や民間部門の建設工事もやや改善してきました。その結果、売上高は15億74百万円(前年同四半期比14.1%増)となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。鋳鉄器材は排水関連製品が堅調に推移していることと外構関連製品が増加し、4億93百万円(同8.1%増)となりました。スチール機材は設備工事関連製品など伸びを欠き、2億97百万円(同0.6%増)なりました。製作金物は建築金物、及び外構関連製品が改善し、防災関連製品も堅調なことから、6億17百万円(同27.7%増)となりました。その他は海外需要等が堅調な建機、機械向け製品が増勢基調を維持していることから1億64百万円(同15.3%増)となりました。

利益につきましては、材料価格がやや低下しましたが受注環境は価格競争もあり厳しい状況は続いております。全社的なコスト改善に向け取り組んでおり、売上総利益は5億20百万円(同28.2%増)となりました。販売費及び一般管理費も継続的な諸経費の低減に努めております。その結果、営業利益は44百万円(前年同四半期は51百万円の営業損失)となりました。営業外収支につきましては金利の低下が進み、改善には至らないものとなりました。その結果、経常利益は33百万円(前年同四半期は59百万円の経常損失)となり、四半期純利益は25百万円(前年同四半期は39百万円の四半期純損失)となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ3億10百万円減少し152億94百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ6億87百万円増加し87億24百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が1億95百万円減少しましたが、現金及び預金が１年以内満期の長期預金の増加等により8億7百万円、たな卸資産が仕入の増加により82百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ9億98百万円減少し65億70百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が償却の進捗等により44百万円、長期預金の１年以内への振替により9億50百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ2億27百万円減少し18億41百万円となりました。その主な要因は、未払法人税等が1億19百万円、賞与引当金が30百万円、流動負債のその他が未払金の減少等により62百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ83百万円減少し134億53百万円となりました。その主な要因は、当第１四半期純利益が25百万円となりましたが、利益剰余金が前事業年度の配当金の支払いにより1億6百万円減少したこと等によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、震災後の復興需要の高まりや経済政策の影響もあり底堅い状況にあるものの欧州の金融不安に加え、為替や中国をはじめとした新興国経済の景気減速も懸念されます。電力需給などもあり先行き不透明な状況が続きます。一方では現況の需要改善からの設備投資やインフラ分野の整備なども見込まれます。販売とサービス、製造と調達、コスト管理、研究開発などに軸足を置き、販売促進に努め需要の創出に努めてまります。今後も経済全般に不安要因は多く、影響も大きなものとなることが考えられますが、業績の向上と安定した収益基盤の確立に努めてまいります。

これらの状況を踏まえ、業績予想につきましては、平成24年５月11日に公表した数値から変更はございません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第１四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,410,946	6,218,118
受取手形及び売掛金	1,587,504	1,392,251
製品	501,191	561,372
仕掛品	80,359	89,019
原材料及び貯蔵品	376,335	390,342
その他	80,951	73,729
貸倒引当金	△798	△696
流動資産合計	8,036,491	8,724,137
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,735,723	1,733,768
その他（純額）	1,349,495	1,306,757
有形固定資産合計	3,085,218	3,040,525
無形固定資産	3,882	3,241
投資その他の資産		
投資有価証券	60,324	57,611
長期預金	3,950,000	3,000,000
その他	481,219	481,236
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	4,479,544	3,526,848
固定資産合計	7,568,645	6,570,615
資産合計	15,605,136	15,294,752
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,911	298,604
未払法人税等	123,250	4,212
賞与引当金	47,676	17,146
その他	322,597	260,508
流動負債合計	784,436	580,471
固定負債		
退職給付引当金	301,066	297,213
役員退職慰労引当金	393,851	371,770
その他	589,559	592,265
固定負債合計	1,284,478	1,261,250
負債合計	2,068,914	1,841,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,454,194	10,373,226
自己株式	△68,685	△68,685
株主資本合計	13,525,508	13,444,540
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,713	8,489
評価・換算差額等合計	10,713	8,489
純資産合計	13,536,222	13,453,030
負債純資産合計	15,605,136	15,294,752

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	1,380,001	1,574,523
売上原価	973,771	1,053,826
売上総利益	406,229	520,697
販売費及び一般管理費	458,126	476,342
営業利益又は営業損失（△）	△51,896	44,354
営業外収益		
受取利息	5,254	5,998
受取配当金	952	963
不動産賃貸料	4,722	4,700
その他	3,168	1,318
営業外収益合計	14,097	12,980
営業外費用		
支払利息	4,491	4,375
売上割引	15,481	17,383
その他	1,950	1,740
営業外費用合計	21,923	23,499
経常利益又は経常損失（△）	△59,722	33,834
特別利益		
固定資産売却益	56	－
特別利益合計	56	－
特別損失		
減損損失	－	1,955
固定資産除却損	200	－
特別損失合計	200	1,955
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△59,866	31,879
法人税、住民税及び事業税	1,698	1,698
法人税等調整額	△22,487	4,349
法人税等合計	△20,789	6,047
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△39,077	25,832

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。